

- 問1 木曽川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. シラス台地 3. 輪中 (わじゅう) 4. 扇状地 (せんじょうち)
-
- 問2 中部地方における発電所の分布を示した資料において、伊勢湾や太平洋の沿岸部に集中している発電所と、福井県の若狭湾沿いや静岡県の海岸沿いに点在している発電所の種類について、正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 伊勢湾などの沿岸部には山地から流れる水を利用する水力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には火力発電所が配置されている。 2. 伊勢湾などの沿岸部には原子力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には輸入燃料を効率よく活用する火力発電所が配置されている。 3. 伊勢湾などの沿岸部には広大な土地を利用する太陽光発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には大規模な水力発電所が配置されている。 4. 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には原子力発電所が配置されている。
-
- 問3 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 香川用水 2. 豊川用水 3. 明治用水 4. 愛知用水
-
- 問4 中部地方各県の農業産出額の内訳を示した統計において、愛知県や長野県、静岡県などでは、産出額が最も多い上位品目の割合がいずれも全体の50パーセントに満たないという特徴が見られます。このような統計から読み取れる、これらの県における農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. 特定の作物のみを大規模に生産するモノカルチャー経済が確立されている 2. 農業従事者の高齢化により、主要な品目の産出額が平均的に減少している 3. 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている 4. 地形や気候の制約により、生産できる農作物の種類が極めて限定されている
-
- 問5 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機で風を散らして茶の芽の成長を促進させる。 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。
-
- 問6 長野県では、かつて盛んだった製糸業に代わり、第二次世界大戦後、時計やカメラなどの生産が急速に発展しました。これらの製品は、高度な技術を要するとともに、内陸部の清浄な空気や水といった環境条件を活かして作られます。このような工業の種類を何と呼びますか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 精密機械器具 2. 一般機械器具 3. 電気機械器具 4. 輸送用機械器具
-
- 問7 日本の公害の歴史をまとめた資料において、富山県で発生したイタイイタイ病の発生メカニズムを説明する文として、最も適切なものはどれか。なお、この公害は神通川流域で発生したものである。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 自動車の排気ガスに含まれる窒素酸化物が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし、目やのどに刺激を与える霧状の物質を発生させた。 2. 化学工場の排水に含まれていた有機水銀が魚介類に蓄積され、それを摂取した人々に手足のしびれなどの神経症状を引き起こした。 3. 鉱山から排出されたカドミウムが川を汚染し、その水を用いた農業や飲用を通じて体内に蓄積し、骨がもろくなるなどの被害をもたらした。 4. 石油コンビナートの工場群から排出された亜硫酸ガスが原因で、周辺住民に激しいせきやぜんそくなどの呼吸器系疾患を多発させた。
-
- 問8 長野県などの中央高地では、標高が高い地域の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの生産が盛んに行われています。平地の出荷時期が過ぎた夏から秋にかけて出荷時期を遅らせるこの栽培方法の名称として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 二毛作 2. 近郊農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培
-
- 問9 日本の諸地域の産業と貿易港の関係について述べた文章のうち、名古屋港の特徴を正しく説明しているものを選んでください。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 鉄鋼業や化学工業などの基礎素材産業の拠点として発展したため、鉄鋼製品の輸出が過半数を占め、原料の輸入も盛んである。 2. 首都圏に位置する貿易の拠点で、輸出額では自動車が入位に入るが、輸入額が輸出額を上回っており、電子機器の輸入も多い。 3. 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。 4. 航空貨物の取扱額が日本一の拠点で、IC (集積回路) や医薬品などの、軽量で高価な製品の輸出に特化している。
-
- 問10 静岡県などの茶の栽培地域において、高いポールの上に扇風機が設置された「防霜ファン」という設備が導入されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 地表付近の湿った空気を上空へ拡散させ、茶の葉がカビによる病気になるのを防ぐため。 2. 人工的な風によって茶の葉を揺らし、光合成を活発にさせることで収穫量を増やすため。 3. 強い風を茶の葉に直接当てることで、害虫の付着を防ぎ、農薬の使用量を減らすため。 4. 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。
-
- 問11 長野県の野辺山原など、標高の高い地域で行われている農業について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。 2. 温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用して、他の地域よりも収穫時期を早めて出荷する農業。 3. 大消費地である都市の近くで、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜や花を栽培し、出荷する農業。 4. 同じ耕地で、一年のうちに米と麦など、二種類の異なる作物を時期をずらして栽培する農業。
-
- 問12 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため 2. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため 3. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため 4. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 輪中（わじゅう）	濃尾平野の下流域は海拔が低く、三つの大きな河川が合流・分岐を繰り返すため、古来より洪水が多発する地域でした。住民は自らの居住地や田畑を水害から守るため、集落の周りをぐるりと堤防で囲む「輪中」を形成しました。これは地形的制約を克服するための生活の知恵として知られています。
問2	答え 4 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県 of 沿岸部には原子力発電所が配置されている。	愛知県や三重県に面する伊勢湾周辺は中京工業地帯などの大規模な工業エリアや大都市があるため、燃料の輸入に便利で大量の電力を安定して供給できる火力発電所が沿岸部に集中しています。また、原子力発電所は大量の冷却水を確保するため、福井県の若狭湾沿いや静岡県の御前崎付近などの海岸沿いに設置されています。
問3	答え 2 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問4	答え 3 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている	中部地方の多くの県では、平野部での稲作に加え、高冷地での野菜栽培、扇状地での果実栽培、都市近郊や山間部での畜産など、多様な地形や気候条件を活かした農業が行われています。そのため、一つの品目に依存するのではなく、農業産出額の上位品目が多岐にわたっており、産出額の構成における多様性が高いことが特徴です。
問5	答え 4 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がることがあります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問6	答え 1 精密機械器具	長野県は、諏訪盆地を中心に時計やカメラなどの「精密機械器具」の製造が盛んです。これらは小型で高付加価値な製品であるため、輸送コストが抑えられる内陸部での生産に適しています。また、塵の少ない空気や豊かな水といった自然環境も、精密な組み立て作業に有利に働きました。愛知県の主力である自動車などの輸送用機械器具と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 3 鉱山から排出されたカドミウムが川を汚染し、その水を用いた農業や飲用を通じて体内に蓄積し、骨がもろくなるなどの被害をもたらした。	イタイイタイ病の原因物質はカドミウムです。上流の三井金属鉱業神岡鉱山から流出したカドミウムが神通川を汚染し、その水で育った米や飲料水を摂取した住民が骨折しやすくなるなどの深刻な健康被害を受けました。選択肢にある有機水銀は水俣病の原因であり、亜硫酸ガス（二酸化硫黄）は四日市ぜんそくの原因です。
問8	答え 4 抑制栽培	夏でも涼しい高原の気候を活かし、他の地域での収穫が難しい時期に野菜を栽培して出荷する仕組みです。これにより、市場での供給が少ない時期に高い価格で販売することが可能になります。宮崎県や高知県で行われる、温暖な気候を利用して出荷を早める「促成栽培」と対比して理解することが重要です。
問9	答え 3 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。	名古屋港の最大の特徴は、背後に控える中京工業地帯、特に愛知県内の自動車産業との密接な結びつきです。完成した自動車だけでなく、その部品やエンジン（内燃機関）といった関連製品を合わせると、輸出全体の約4割に達します。このような特定の産業に特化した大規模な輸出構造が、日本一の貿易額を支える要因となっています。
問10	答え 4 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。	4月上旬などの春先は、茶の柔らかい新芽が芽吹く時期ですが、夜間に地表の熱が奪われる「放射冷却」が起きると、地表付近の温度が下がって霜が降りることがあります。新芽が霜に当たると枯れてしまい、品質や収穫量に大きな影響が出るため、地上数メートルの高さにある比較的暖かい空気をファンで地表に送り込み、茶畑の温度を下げないように工夫されています。
問11	答え 1 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。	長野県の野辺山原は標高が1000mを超える高冷地であり、夏でも平均気温がレタスの生育に適した15度から20度程度に保たれます。この涼しい気候を活かして、平地では暑すぎて栽培が難しい夏から秋にかけて野菜を収穫し、出荷時期を遅らせる「抑制栽培」が行われています。これにより、都市部での供給が不足する時期に高い価格で販売することが可能になります。
問12	答え 4 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。